

月	LESSON	時間	LESSON CAN-DO		主な学習活動							評価の観点（LESSON CAN-DOに対応）／○◎は主に指導するスキル、◎は単元内または後日記録に残す評価場面の例					
	題材を通して学ぶ内容		スキル別単元目標 ★は各単元の重点指導スキル		コーナー	L	R	SI	SP	W	題材・場面・言語活動・言語材料			知	思	態	知識・技能
4	LESSON 1 Words to Live By 【言語・コミュニケーション】		[L] 人物についての会話や説明を理解することができる。	導入	Warm-up	○		○			・写真の人物についての高校生同士の会話を聞いて内容を理解する。 ・写真の人物について知っていることをやり取りする。				[L]/[R] 現在・過去・未来を表す表現を用いた文の意味や働きを理解し、人物やその人の考えについて話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、人物やその人の考えについて話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、人物やその人の考えについて話された文章の概要や要点を捉えようとしている。
			[R] 人物についての英文の概要や要点を理解することができる。		Passage/New Words/Listening	○	○				PART 1: 夢を持つことの力について理解する。 PART 2: 失敗の大切さについて理解する。 PART 3: 自己の大切さを理解する。					[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、人物やその人の考えについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、人物やその人の考えについて書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。
			[SI (★)] 人物やその人の考えについてやり取りすることができる。	PART 1 3	Key Ideas			○			・人物やその人の考えについての説明文を読んで概要や要点を確認する。				[SI/SP] 現在・過去・未来を表す表現を用いた文の構造を理解し、人物やその人の考えについて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、人物やその人の考えについて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、人物やその人の考えについて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。
			[SP] 絵や写真を見せながら人物について話すことができる。		The Gist			○			・人物やその人の考えについての説明文の要約をキーワードを使って完成する。				[W] 現在・過去・未来を表す表現を用いた文の構造を理解し、自分が余暇にしていることについて、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[W] 自己紹介文を書く場面で、自分が余暇にしていることについて、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[W] 自己紹介文を書く場面で、自分が余暇にしていることについて、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。
			[W] 自分の余暇の行動について簡潔に書くことができる。		Think and Talk				○		・人物やその人の考えに関係する身近な話題についてやり取りする。						
			[Target Task／SI(★)] 尊敬する人についてやり取りすることができる。		Grammar						PART 1: 現在形／過去形の使い方を理解する。 PART 2: 現在進行形／過去進行形の使い方を理解する。 PART 3: 未来を表す表現の使い方を理解する。						
					Comprehension Check	○	○			○	・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・写真を見せながら人物について説明する。	◎					
					Test Your Skills	○					・尊敬する人について姉妹校の生徒とビデオ通話をする場面で、相手側の生徒の発表内容を聞いてメモする。 ・留学生がいるつもりで、「尊敬する人」についてやり取りする。	◎	◎	◎	[SI★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合う技能を身に付けている。 [ルーブリック評価の観点例: 文構造と時制の適切な使用]	[SI★] クラスメートや留学生と話し合いをする場面で、「尊敬する人」について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、話して伝え合うやりとりを続けている。 [ルーブリック評価の観点例： 尊敬する人についての説明と尊敬する理由の論理的適切さ]	[SI★] クラスメートや留学生と話し合いをする場面で、「尊敬する人」について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、話して伝え合うやりとりを続けようとしている。 [ルーブリック評価の観点例： 会話を続けようとする積極的態度]

					Language in Action			○		○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・自分の余暇の行動について簡潔に書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedback を通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(SI)の評価は、後日パフォーマンス評価（一人1分程度）で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。（Check Your Progress!や 振り返りシートなどを活用する） 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。		
					Listening Tips	○					・カタカナになっている英語の正確な発音に気をつけながら、人物についての説明を聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress!						・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			
5	LESSON 2 My Experience Abroad 【言語・コミュニケーション】 英語が役立つ場面について理解を深め、英語を学ぶ意義について考える。	[L] 駅での会話やアナウンスを理解することができる。 [R] 英語体験についての英文の概要や要点を理解することができる。 [SI] お互いの英語体験についてやり取りすることができる。 [SP] 絵や写真を見せながら他の人の経験について話すことができる。 [W(★)] 日本の発明品について簡潔に書くことができる。 [Target Task/W(★)] 自分の英語体験について短い文章を書くことができる。	導入	Warm-up	○			○			・高校生と外国人旅行者との会話を聞いて内容を理解する。 ・写真を見て日本や海外で英語を使う場面についてやり取りする。				[L]/[R] 助動詞・受動態・動名詞を用いた文の意味や働きを理解し、駅での会話・アナウンスや、大学生の英語体験について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、英語体験について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、英語体験について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。
			PART 1 3	Passage/New Words/Listening	○	○					PART 1: Miuのアメリカでのホームステイ経験について理解する。 PART 2: Ryuのカナダ留学での経験について理解する。 PART 3: Nanaのアフリカでのインターンシップ経験について理解する。				[SI/SP] 助動詞・受動態・動名詞を用いた文の構造を理解し、大学生の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、自分の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、自分の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。
				Key Ideas			○				・大学生の英語体験談を読んで概要や要点を理解する。						
				The Gist			○				・大学生の英語体験談の要約をキーワードを使って完成する。						
				Think and Talk				○			・日本や海外で英語を使う経験についてやり取りする。						
				Grammar							PART 1: 助動詞の使い方を理解する。 PART 2: 受動態の使い方を理解する。 PART 3: 動名詞の使い方を理解する。						
				Comprehension Check	○	○			○		・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・写真を見せながら他の人の経験について説明する。	◎					

				単 元 の ま と め 活 動	Test Your Skills	○					・学校新聞に掲載するため、姉妹校から学校訪問に来た生徒に、英語が話せてよかったと思った体験についてインタビューした結果を聞いてメモする。 ・姉妹校に送る学校新聞に掲載するために、英語を使った経験や、英語を使ってしてみたいことについて短い段落を書く。	◎	◎	◎	[W★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、自分の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、適切に伝え合う技能を身に付けている。 [ルーブリック評価の観点例: 文構造・文法の適切な使用]	[W★] 学校新聞に掲載する目的で、自分の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて書いている。 [ルーブリック評価の観点例： 英語体験についての説明の論理構成の適切さ]	[W★] 学校新聞に掲載する目的で、自分の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて書こうとしている。 [ルーブリック評価の観点例： 説明を最後まで書こうとする積極的態度（書いた英文の量）]
					Language in Action			○		○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・日本の発明品について簡潔に書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル（SI, SP, W）は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル（W）の評価は、単元終了後あるいは定期テストで記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。（Check Your Progress!や 振り返りシートなどを活用する） 3. 受容スキル（Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。		
					Listening Tips	○					・英語らしい語尾の発音に気をつけながら、駅、空港、ホテルで使われるアナウンスや表現を聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress!						・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			
6	LESSON 3 Our Feline Friends 【生活】 ネコと人間の関わりやネコの生態について理解を深	[L] ペットや動物についての会話を理解することができる。 [R(★)] ペットや動物についての英文の概要や要点を理解することができる。 [SI] ペットや動物についてやり取りすることができる。 [SP] 絵や写真を見せながらペットや動物について話すことができる。 [W] 飼ってみたいペットについて簡潔に書くことができる。 [Target Task／R(★)] ペット用品についての雑誌の記事を読み取ることができる。	導入	Warm-up	○		○			・動物についての高校生同士の会話を聞いて内容を理解する。 ・写真を見てペットや動物についてやり取りする。				[L]/[R] 不定詞・S＋V＋O(that 節)・接続詞を用いた文の意味や働きを理解し、ペットや動物について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、ペットや動物について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、ペットや動物について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	
			PART 1 3	Passage/New Words/Listening	○	○			PART 1: ネコと人間の関係について歴史的経緯を理解する。 PART 2: ネコの生態についての情報を理解する。 PART 3: ネコ特有の行動とその科学的説明を理解する。				[SI/SP] 不定詞・S＋V＋O(that 節)・接続詞を用いた文の構造を理解し、ペットや動物に関する話題について、情報や動物に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。 [W] 不定詞・S＋V＋O(that 節)・接続詞を用いた文の構造を理解し、ペットや動物に関する話題ついて、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、ペットや動物について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、ペットや動物について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。		
				Key Ideas		○			・ネコと人間の関係についての歴史的経緯やネコの生態などについての説明文を読んで概要や要点を理解する。					[SI/SP] クラスメートにわかるように、ペットや動物に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[W] 自分のことについて理解してもらえるように、好きなペットについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。		
				The Gist		○			・ネコと人間の関係やネコの生態などについての説明文の要約をキーワードを使って完成する。					[W] 自分のことについて理解してもらえるように、好きなペットについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。			
				Think and Talk			○		・ペットやネコの生態に関係する身近な話題についてやり取りする。								
				Grammar					PART 1: 不定詞の使い方を理解する。 PART 2: S＋V＋O(that 節)の使い方を理解する。 PART 3: 接続詞の使い方を理解する。								

	め、ペットと しての動物に ついて考え る。			単 元 の ま と め 活 動	Comprehension Check	○	○		○		・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・絵や写真を見せながらペットや動物について説明する。	◎					
					Test Your Skills	○	◎				・姉妹校の生徒がペットホテルについて説明する内容を聞いてメモする。 ・ペットビジネスについての資料を読んで内容を整理しながらメモする。	◎	◎	◎	[R★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、ペットや動物について書かれた文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[R★] 読んだ内容について発表するために、ペットや動物に関する雑誌の記事を読んで、概要や要点を捉えている。	[R★] 読んだ内容について発表するために、ペットや動物に関する雑誌の記事を読んで、概要や要点を捉えようとしている。
					Language in Action				○	○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・飼ってみたいペットについて簡潔に書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progress!や 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (R)の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。		
					Listening Tips	○					・内容語が強調して発音されることに気をつけながら、ペットについての会話を聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress!						・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			
LESSON 4 Work in the			[L] 将来の職業についての会話や説明を理解することができる。	導入	Warm-up	○			○		・高校生と先生との会話を聞いて内容を理解する。 ・写真を見て職業の種類についてやり取りする。				[L]/[R] 現在完了形・現在完了進行形・S+V(be動詞以外) + C(形容詞) を用いた文の意味や働きを理解し、職業について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。 [SI/SP] 現在完了形・現在完了進行形・S+V(be動詞以外) + C(形容詞) を用いた文の構造を理解し、職業に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。 [W] 現在完了形・現在完了進行形・S+V(be動詞以外) + C(形容詞) を用い	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、職業について話された文章の概要や要点を捉えている。 [R] 読んだ内容について書いてまとめるために、職業について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 [SI/SP] クラスメートにわかるように、職業に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。 [W] 自分のことについて理解してもらるように、職業に関する話題につい	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、職業について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。 [R] 読んだ内容について書いてまとめるために、職業について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。 [SI/SP] クラスメートにわかるように、職業に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。 [W] 自分のことについて理解してもらるように、職業に関する話題につい
			[R] 職業についての英文の概要や要点を理解することができる。		Passage/New Words/Listening	○	○				PART 1: 人気の職業の変化について理解する。 PART 2: 科学技術の進展と職業の変化の関係を理解する。 PART 3: 将来の職業で大切なスキルについて理解する。						
			[SI] 将来の職業についてやり取りすることができる。	PART 1 3	Key Ideas				○		・職業の変化についての説明文を読んで概要や要点を理解する。						
			[SP] 絵や写真を見せながら職業の変化について話することができる。		The Gist				○		・職業の変化についての説明文の要約をキーワードを使って完成する。						
			[W(★)] 興味のある職業について簡潔に書くことができる。		Think and Talk				○		・興味のある職業や将来の職業についてやり取りする。						
			[Target Task／W(★)] 職業選択において優先する要素について意見を書くことができる。														

					Language in Action			○		○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・好きな食べ物とその理由について簡潔に書く。	◎			【備考】 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedback を通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(SP)の評価は、後日パフォーマンス評価（一人1分程度）で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。（Check Your Progress!や 振り返りシートなどを活用する） 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。		
					Listening Tips	○					・短縮形の発音に気をつけながら、食べ物についての説明を聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress!						・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			
10	LESSON 6 A Long Way Home 【社会・文化】 人の運命的な経験について理解を深め、人の心の動きや行動について考える。		[L] 実話についての会話や説明を理解することができる。 [R] 実話に基づく物語の概要や要点を理解することができる。 [SI] 物語や登場人物の心情についてやり取りすることができる。 [SP] 絵や写真を見せながら物語のあらすじを話すことができる。 [W (★)] 思い出に残っている旅について簡潔に書くことができる。 [Target Task／W(★)] 好きな映画や本についてブログを書くことができる。	導入	Warm-up	○					・高校生同士の実話に関する会話を聞いて内容を理解する。 ・絵を見て話の内容について想像しながらやり取りする。				[L]/[R] It is～for+<人など>+to 不定詞・前置詞句による修飾・現在分詞／過去分詞による修飾を用いた文の構造を理解し、実話について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。 [SI/SP] It is～for+<人など>+to 不定詞・前置詞句による修飾・現在分詞／過去分詞による修飾を用いた文の構造を理解し、実話について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。 [W] It is～for+<人など>+to 不定詞・前置詞句による修飾・現在分詞／過去分詞による修飾を用いた文の構造を理解し、思い出に残っている旅について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、実話について話された文章の概要や要点を捉えている。 [R] 読んだ内容について書いてまとめるために、実話に基づく物語の概要や要点を捉えている。 [SI/SP] クラスメートにわかるように、読んだ物語の内容について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。 [W] 自分のことについて理解してもらえるように、思い出に残っている旅について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、実話について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。 [R] 読んだ内容について書いてまとめるために、実話に基づく物語の概要や要点を捉えようとしている。 [SI/SP] クラスメートにわかるように、読んだ物語の内容について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。 [W] 自分のことについて理解してもらえるように、思い出に残っている旅について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。
				PART 1 4	Passage/New Words/Listening	○	○				PART 1: 主人公の置かれた状況について理解する。 PART 2: 主人公の身に起きた大きな事件の内容を理解する。 PART 3: 主人公の人生の転機となった出来事を理解する。 PART 4: 主人公がとった行動とその結果を理解する。						
					Key Ideas			○			・出来事の概要や要点を確認する。						
					The Gist			○			・物語の要約をキーワードを使って完成する。						
					Think and Talk					○	・物語や登場人物の心情についてやり取りする。						
					Grammar						PART 1: It is ～ for+<人など>+to 不定詞の使い方を理解する。 PART 2: 前置詞句による修飾表現の使い方を理解する。 PART 3: 現在分詞による修飾表現の使い方を理解する。 PART 4: 過去分詞による修飾表現の使い方を理解する。						
					Comprehension Check	○	○			○	・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・絵を見せながら物語のあらすじを説明する。	◎					

				単 元 の ま と め 活 動	Test Your Skills	○				◎	・姉妹校の生徒が好きな本について話す内容を聞いてメモする。 ・ブログに載せるために、見た映画や読んだ本についての概要を書く。	◎	◎	◎	[W★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、自分の見た映画や読んだ本について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。 [ルーブリック評価の観点例: 文構造・文法の適切な使用]	[W★] ブログに載せるために、見た映画や読んだ本についての概要を書いている。 [ルーブリック評価の観点例: 指定された内容を適切な順番で記述する論理構成の適切さ]	[W★] ブログに載せるために、見た映画や読んだ本についての概要を書こうとしている。 [ルーブリック評価の観点例: 指定された内容を最後まで書こうとする積極的態度（書いた英文の量）]
					Language in Action			○		○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・思い出に残っている旅について簡潔に書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル (W)の評価は、単元終了後あるいは定期テストで記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progress!や 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。		
					Listening Tips	○				◎	・弱く発音される機能語の聞き取りに気をつけながら、高校生が見た映画やテレビ、読んだ本について話すのを聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress!						・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			
11	LESSON 7 Can You Read Faces? 【人間・心理】 顔の表情の持つ意味について理解を深める。	[L(★)] 人間の心理についての会話や講義を理解することができる。 [R] 人間の心理についての英文の概要や要点を理解することができる。 [SI] 人間の感情についてやり取りすることができる。 [SP] 資料や写真を見せながら人間の表情について話すことができる。 [W] 他の教科で学んだことについて簡潔に書くことができる。 [Target Task／L(★)] 短い講義を聞いて内容を理解することができる。	導入	Warm-up	○		○			・高校生がもう一人の高校生の様子を気づかう会話を聞いて内容を理解する。 ・写真を見て人間の表情についてやり取りする。				[L]/[R] 関係代名詞（目的格・主格）・疑問詞＋to不定詞・間接疑問を用いた文の意味や働きを理解し、顔の表情やその読み取り方について話したり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、顔の表情やその読み取り方について話された文章の概要や要点を捉えている。 [R] 読んだ内容について書いてまとめるために、顔の表情やその読み取り方について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、顔の表情やその読み取り方について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。 [R] 読んだ内容について書いてまとめるために、顔の表情やその読み取り方について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	
			PART 1 4	Passage/New Words/Listening	○	○				PART 1: 顔の表情にはどのような力があるかを理解する。 PART 2: 顔の表情についての研究の概要を理解する。 PART 3: 微笑みの文化的違いについて理解する。 PART 4: 日本と西洋の表情の読み取り方の違いについて理解する。				[SI/SP] 関係代名詞（目的格・主格）・疑問詞＋to不定詞・間接疑問を用いた文の構造を理解し、顔の表情やその読み取り方に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、顔の表情やその読み取り方に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、顔の表情やその読み取り方に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	
				Key Ideas			○				・顔の表情に関する説明文を読んで概要や要点を理解する。						
				The Gist			○				・顔の表情に関する説明文の要約をキーワードを使って完成する。						
				Think and Talk				○			・顔の表情や対面コミュニケーションに関する身近な話題についてやり取りする。						
				Grammar							PART 1: 関係代名詞（目的格）の使い方を理解する。 PART 2: 関係代名詞（主格）の使い方を理解する。 PART 3: 疑問詞（howなど）＋to不定詞の使い方を理解する。 PART 4: 間接疑問の使い方を理解する。				[W] 関係代名詞（目的格・主格）・疑問詞＋to不定詞・間接疑問を用いた文の構造を理解し、顔の表情やその読み取り方に関する話題について、情	[W] クラスメートにわかるように、他の教科で学んだことについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書い	[W] クラスメートにわかるように、他の教科で学んだことについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書い

	め、人と人とのコミュニケーションの在り方について考える。			単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○		○		・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・資料や写真を見せながら人間の表情や対面コミュニケーションの意義について説明する。	◎			報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。	て伝えている。	て伝えようとしている。
					Test Your Skills	○ ◎					・短期留学準備のためのオンライン事前学習サイトの音声から、必要な情報を聞いてメモする。 ・帰国後の報告会で発表するために、短期留学先の授業の要点をメモする。	◎	◎	◎	[L★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、短い講義を聞いて内容を理解する技能を身に付けている。	[L★] 聞いた内容について発表するために、コミュニケーションの仕方に関する短い講義を聞いて、概要や要点を捉えている。	[L★] 聞いた内容について発表するために、コミュニケーションの仕方に関する短い講義を聞いて、概要や要点を捉えようとしている。
					Language in Action			○		○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・他の教科で学んだことについて簡潔に書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progress!や 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (L)の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。		
					Listening Tips	○					・音変化に気をつけながら、会話を聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress!						・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			
	LESSON 8 Make People Shine: Choreo-director, ...	[L] 日常の行動についての会話や指示を理解することができる。 [R(★)] スペシャリストについての英文の概要や要点を理解することができる。 [SI] スペシャリストとその仕事についてやり取りすることができる。 [SP] 絵や写真を見せながらスペシャリストの業績について話すことができる。 [W] 身近な人などについて簡潔に書くことができる。 [Target Task／R(★)] Eメールで送られたプロフィールを読んで内容を理解することができる。	導入	Warm-up	○		○			・高校生がもう一人の高校生に何をしているのかを尋ねる会話を聞いて内容を理解する。 ・写真を見て、スペシャリストの仕事についてやり取りする。				[L]/[R] 仮定法過去・S+V+O+動詞の原形・seem/appear to を用いた文の意味や働きを理解し、スペシャリストについて話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、スペシャリストについて話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、スペシャリストについて話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	
			PART 1 4	Passage/New Words/Listening	○	○				PART 1: 振付師の仕事について理解する。 PART 2: MIKIKO の主な業績について理解する。 PART 3: MIKIKO の仕事上の哲学について理解する。 PART 4: MIKIKO の海外での活躍について理解する。				[SI/SP] 仮定法過去・S+V+O+動詞の原形・seem/appear to を用いた文の構造を理解し、スペシャリストに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。 [W] 仮定法過去・S+V+O+動詞の原形・	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、スペシャリストについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、スペシャリストについて書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	
				Key Ideas			○			・スペシャリストとその仕事についての説明文を読んで概要や要点を理解する。							
				The Gist			○			・スペシャリストとその仕事についての説明文の要約をキーワードを使って完成する。							
				Think and Talk				○		・仕事に関係する身近な話題についてやり取りする。							

11 ・ 12	MIKIKO 【人間・心理】 スペシャリストの仕事に対する考え方について理解を深め、将来の生き方について考える。			単元のまとめ活動	Grammar						PART 1: 仮定法過去の使い方を理解する。 PART 2: S + V(使役動詞) + O+動詞の原形の使い方を理解する。 PART 3: S + V(知覚動詞) + O+動詞の原形の使い方を理解する。 PART 4: seem/appear +to不定詞の使い方を理解する。				seem/appear to を用いた文の構造を理解し、スペシャリストに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	シャリストに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	シャリストに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。		
					Comprehension Check	○	○		○	・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・写真を見せながらスペシャリストの活躍について説明する。	◎								
					Test Your Skills	○	◎				・姉妹校の先生からの合同交流プロジェクトについての提案を聞いて、必要な情報をメモする。 ・Eメールで送られた合同交流プロジェクトのメンバーのプロフィールを読んで内容を整理する。	◎	◎	◎	[R★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、人物のプロフィールについて書かれた文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[R★] プロジェクトチームのメンバーを理解するために、人物のプロフィールを読んで、必要な情報を捉えている。	[R★] プロジェクトチームのメンバーを理解するために、人物のプロフィールを読んで、必要な情報を捉えようとしている。		
					Language in Action				○	○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・身近な人などについて簡潔に書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progress!や 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (R)の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。				
					Listening Tips	○					・音声を聞いて意味をすぐにイメージすることに気をつけながら、指示を聞いて理解する。	◎							
					Check Your Progress!						・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎					
第2学期の評価（中間考査・期末考査・パフォーマンス評価）												知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中間・期末考査						◎						リスニング問題（概要・要点・意図） リーディング問題（語彙・文法） リーディング問題（概要・要点・意図・論理構成） 課題作文問題	◎	◎		目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。	短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。 英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。 与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	目安として提示された分量の英文を書いている。	
パフォーマンステスト （中間・期末考査とは別の時期に実施）										◎		外国からの留学生に、地元の観光名所の魅力について1分間で紹介する。（LESSON 5のTarget Taskの応用）			◎	◎		与えられた課題に対して自分の考えや気持ちを明確に述べている。	30秒以上発表を続けている。
小テスト											◎	場面に応じた会話完成問題 単文レベルの英作文問題	◎			目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。			

			課題・提出物					◎	振り返りシート＋リスニング活動への取り組み: LESSON 7 のTarget Task（短い講義を聞いて内容を理解する）への取り組みについての振り返りシートの記述と、授業におけるリスニング活動への取り組み状況を評価		◎	◎		授業中の、まとまった内容の英文を聞き取る活動において、概要・要点・意図を理解している。	自らの学びのプロセスを自己認識し、記録に残しながら課題に取り組もうとしている。
1	人類と飛行の歴史について理解を深め、人間の努力と文明の発達について考える。	[L(★)] 人類の発明についての会話や説明を理解することができる。 [R] 人類の飛行の歴史についての英文の概要や要点を理解することができる。 [SI] 人類の飛ぶことへの興味についてやり取りすることができる。 [SP] 絵や写真を見せながら人類の飛行の歴史について話すことができる。 [W] タイムマシンでしたいことについて簡潔に書くことができる。 [Target Task／L(★)] ツアーガイドの説明を聞いて内容を理解することができる。	導入	Warm-up	○		○		・高校生がもう一人の高校生に最近学んだことについて尋ねる会話を聞いて内容を理解する。 ・写真を見ながら、人が空を飛ぶことに憧れる理由についてやり取りする。				[L]/[R] 関係代名詞 what・関係副詞 where/when・助動詞を含む受動態を用いた文の意味や働きを理解し、人類と飛行の歴史について話したり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、人類と飛行の歴史について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、人類と飛行の歴史について話された文章の概要や要点を捉えている。
			PART 1 4	Passage/New Words/Listening	○	○			PART 1: 人類と飛行に関する神話や歴史について理解する。 PART 2: 人類が飛行を試みた初期の歴史について理解する。 PART 3: 気球や飛行船による飛行の歴史について理解する。 PART 4: 飛行機の発明と発達の歴史について理解する。				[SI/SP] 関係代名詞 what・関係副詞 where/when・助動詞を含む受動態を用いた文の構造を理解し、人類と飛行の歴史に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、人類と飛行の歴史について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、人類と飛行の歴史について書かれた文章の概要や要点を捉えている。
				Key Ideas		○			・人類の飛行の歴史に関する説明文を読んで概要や要点を理解する。					[SI/SP] クラスメートにわかるように、人類と飛行の歴史に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、人類と飛行の歴史に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。
				The Gist		○			・人類の飛行の歴史に関する説明文の要約をキーワードを使って完成する。					[W] クラスメートにわかるように、タイムマシンでしたいことについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[W] クラスメートにわかるように、タイムマシンでしたいことについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。
				Think and Talk			○		・人類と飛行の歴史に関する話題についてやり取りする。				[L★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、ツアーガイドの説明を聞いて内容を理解する技能を身に付けている。	[L★] ブログに旅行記を載せるために、ツアーガイドの説明を聞いて、概要や要点を捉えている。	[L★] ブログに旅行記を載せるために、ツアーガイドの説明を聞いて、概要や要点を捉えている。
				Grammar					PART 1: 関係代名詞 what の使い方を理解する。 PART 2: 関係副詞 where の使い方を理解する。 PART 3: 関係副詞 when の使い方を理解する。 PART 4: 助動詞を含む受動態の使い方を理解する。						
			単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○		○	・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・絵や写真を見せながら人類と飛行の歴史について説明する。	◎					
				Test Your Skills	○ ◎				・旅行先の博物館の展示アナウンスを聞いて、必要な情報をメモする。 ・ブログに旅行記を載せるために、博物館ツアーの説明を聞いて要点をメモする。	◎	◎	◎			

[illegible]

				単 元 の ま と め 活 動	Test Your Skills	○					・学校新聞の記事にするために、姉妹校の生徒が日本の学校文化について話し合った内容を聞いて整理してメモする。 ・ミニディベートで、理由・具体例とともに、主張を発表する。	◎	◎	◎	[SP★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、与えられたトピックについて、主張を理由・具体例とともに適切に話して伝える技能を身に付けている。 [ルーブリック評価の観点例: 文構造と時制の適切な使用]	[SP★] オンラインで姉妹校の生徒とミニディベートをする場面で、与えられたトピックについて、主張を理由・具体例とともに適切に話して伝えている。 [ルーブリック評価の観点例： 主張と理由・具体例の論理的適切さ]	[SP★] オンラインで姉妹校の生徒とミニディベートをする場面で、与えられたトピックについて、主張を理由・具体例とともに適切に話して伝えようとしている。 [ルーブリック評価の観点例： 会話を続けようとする積極的 態度]	
					Language in Action			○	○	○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・自分や身近な人が環境を守るためにしていることを簡潔に書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedback を通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(SP)の評価は、後日パフォーマンス評価（一人1分程度）で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。（Check Your Progress!や 振り返りシートなどを活用する） 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。			
					Listening Tips	○					・話し手の中心的主張に気をつけながら、プラスチックゴミに関するミニディベートを聞いて内容を理解する。	◎						
					Check Your Progress!						・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎				
	第3学期の評価（期末考査・パフォーマンス評価）											知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	期末考査		◎			◎					◎		◎	◎	◎	目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。 英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。 与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。 英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。 与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	目安として提示された分量の英文を書いている。
	パフォーマンステスト （期末考査とは別の時期に実施）									◎	予め5つの身近な論題を指定し、その場で選んだ論題について、賛否の立場を決め1分間で主張を論じる。（LESSON 10のTarget Taskの応用）			◎	◎		与えられた論題に対し自分の立場を明確にして理由・具体例とともに述べている。	30秒以上自らの主張を述べ続けている。
	小テスト									◎	場面に応じた会話完成問題 単文レベルの英作文問題	◎				目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。		
	課題・提出物									◎	振り返りシート＋課題： LESSON 10 のTarget Task（ミニディベートで主張を発表する）への取り組みについての振り返りシートの記述と、ミニディベート活動への取り組み状況の評価			◎	◎		与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	自らの学びのプロセスを自己認識し、記録に残しながら課題に取り組もうとしている。